



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月4日

上場会社名 株式会社中山製鋼所
 コード番号 5408 URL <http://www.nakayama-steel.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 箱守 一昭

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理本部長 (氏名) 阪口 光昭

TEL 06-6555-3035

四半期報告書提出予定日 2020年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	106,682	7.3	3,769	8.7	3,824	0.9	2,924	46.9
2019年3月期第3四半期	115,037	4.5	4,126	17.4	3,859	23.2	1,990	50.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,913百万円 (83.6%) 2019年3月期第3四半期 1,586百万円 (66.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	54.02	
2019年3月期第3四半期	36.76	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	122,946	82,344	67.0	1,521.03
2019年3月期	124,605	79,863	64.1	1,475.20

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 82,344百万円 2019年3月期 79,863百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		4.00		4.00	8.00
2020年3月期		4.00			
2020年3月期(予想)				6.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期期末配当金(予想)の内訳 普通配当4円00銭 記念配当2円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	137,500	10.6	4,500	21.5	4,400	15.2	3,300	4.7	60.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	63,079,256 株	2019年3月期	63,079,256 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	8,942,003 株	2019年3月期	8,941,732 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	54,137,417 株	2019年3月期3Q	54,138,829 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件等につきましては、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境は改善しておりますが、米中貿易摩擦や中国経済の減速を背景に輸出や生産を中心に弱含みが続きました。当社グループを取り巻く環境は、建築向けや自動車・産業機械など製造業向けの鋼材需要は低迷し、諸資材価格の高騰や人手不足などによる生産・物流コストの上昇など厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画（2019年度～2021年度）の方針に沿って、当社グループの協働施策やコスト削減に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,066億82百万円（前年同期比83億55百万円減）、営業利益37億69百万円（前年同期比3億57百万円の減益）、経常利益38億24百万円（前年同期比34百万円の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益29億24百万円（前年同期比9億34百万円の増益）となりました。

当第3四半期連結累計期間における各セグメントの業績は、次のとおりであります。

鉄鋼につきましては、前年同期に比べ、輸出環境の悪化、国内の荷動きの低調により、鋼材販売数量が大幅に減少し、売上高は減収となりました。収益面では、主原料であるスクラップ価格が下落し鋼材スプレッドは大幅に改善しましたが、鋼材販売数量の減少に加え、資材費や輸送費などの諸コストの増加により、前年同期並みとなりました。これらの結果、売上高は1,050億5百万円（前年同期比84億74百万円減）、経常利益は37億17百万円（前年同期比20百万円の増益）となりました。

エンジニアリングにつきましては、前年同期に比べて海洋部門において受注が減少したことなどにより減収減益となり、売上高は10億49百万円（前年同期比38百万円減）、経常損益は34百万円の損失（前年同期比6百万円の減益）となりました。

不動産につきましては、昨年11月より開始した当社船町工場内の倉庫賃貸収入が増加したことなどにより、売上高は6億26百万円（前年同期比1億58百万円増）、経常利益は3億68百万円（前年同期比4百万円の増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、1,229億46百万円となり、前連結会計年度末と比べ16億59百万円減少しました。これは主として、受取手形及び売掛金、電子記録債権が増加しましたが、現金及び預金、並びにたな卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品）が減少したことによるものであります。

負債については、406億2百万円となり、前連結会計年度末と比べ41億39百万円減少しました。これは主として、支払手形及び買掛金、未払金、賞与引当金並びに長期借入金が減少したことによるものであります。

純資産については、823億44百万円となり、前連結会計年度末と比べ24億80百万円増加しました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したこと並びに配当金を支払ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、わが国経済においては、都市開発関連工事や自然災害対策などの鋼材需要は底堅く推移することが期待されますが、東京五輪前の物件端境期もあり荷動きが停滞する中、鋼材販売価格の動向が懸念されるなど、先行き不透明感が一段と強まっております。

このような環境の下、当社グループは電気炉の生産性向上や加工ビジネスの強化など中期経営計画における諸施策を推進してまいります。

2020年3月期通期の業績予想につきましては、鋼材需要の不振が長引くことにより、鋼材販売数量、鋼材販売価格ともに前回の想定には届かず、売上高、営業利益、経常利益ともに、前回の予想を下回る見通しであります。

以上の状況を踏まえ、2019年11月6日に公表しました「2020年3月期 第2四半期決算短信」における連結通期業績予想につきまして、売上高1,375億円、営業利益45億円、経常利益44億円、親会社株主に帰属する当期純利益33億円の修正しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,227	16,182
受取手形及び売掛金	28,958	29,766
電子記録債権	3,643	4,508
商品及び製品	11,067	11,887
仕掛品	2,740	2,327
原材料及び貯蔵品	10,736	9,310
その他	2,560	2,324
貸倒引当金	△90	△99
流動資産合計	77,844	76,207
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,335	6,583
機械及び装置（純額）	9,402	9,526
土地	24,185	23,814
その他（純額）	1,306	1,256
有形固定資産合計	41,229	41,181
無形固定資産	224	256
投資その他の資産		
投資有価証券	2,363	2,428
差入保証金	1,864	1,869
その他	1,137	1,057
貸倒引当金	△58	△54
投資その他の資産合計	5,306	5,301
固定資産合計	46,760	46,739
資産合計	124,605	122,946

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,555	17,614
電子記録債務	723	564
短期借入金	3,071	3,060
1年内償還予定の社債	42	42
未払金	2,386	1,491
未払費用	1,659	1,511
未払法人税等	330	274
賞与引当金	797	358
解体撤去引当金	658	455
災害損失引当金	382	209
その他	1,076	1,377
流動負債合計	30,683	26,959
固定負債		
社債	153	132
長期借入金	5,514	4,721
繰延税金負債	2,128	2,565
再評価に係る繰延税金負債	1,113	1,113
環境対策引当金	524	602
解体撤去引当金	404	404
関係会社事業損失引当金	165	191
退職給付に係る負債	2,469	2,467
負ののれん	374	235
その他	1,210	1,209
固定負債合計	14,058	13,642
負債合計	44,741	40,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,044	20,044
資本剰余金	7,826	7,826
利益剰余金	48,897	51,459
自己株式	△775	△775
株主資本合計	75,992	78,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	925	912
土地再評価差額金	3,125	3,055
退職給付に係る調整累計額	△180	△177
その他の包括利益累計額合計	3,870	3,789
純資産合計	79,863	82,344
負債純資産合計	124,605	122,946

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	115,037	106,682
売上原価	101,891	93,304
売上総利益	13,145	13,377
販売費及び一般管理費		
販売費	4,591	4,765
一般管理費	4,427	4,842
販売費及び一般管理費合計	9,018	9,608
営業利益	4,126	3,769
営業外収益		
受取利息	38	30
受取配当金	87	85
負ののれん償却額	139	139
持分法による投資利益	-	88
不動産賃貸料	43	46
その他	56	50
営業外収益合計	366	440
営業外費用		
支払利息	123	100
持分法による投資損失	266	-
賃借料	112	112
その他	131	172
営業外費用合計	633	385
経常利益	3,859	3,824
特別利益		
固定資産売却益	6	285
スクラップ売却益	-	196
災害による保険金収入	6	43
特別利益合計	13	525
特別損失		
固定資産除却損	39	103
減損損失	-	100
環境対策費	10	78
解体撤去引当金繰入額	70	55
関係会社株式評価損	113	-
その他	1,009	37
特別損失合計	1,244	376
税金等調整前四半期純利益	2,628	3,973
法人税、住民税及び事業税	459	595
法人税等調整額	177	453
法人税等合計	637	1,049
四半期純利益	1,990	2,924
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,990	2,924

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,990	2,924
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△427	△12
退職給付に係る調整額	25	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△403	△10
四半期包括利益	1,586	2,913
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,586	2,913
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	鉄鋼 (百万円)	エンジニア リング (百万円)	不動産 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	113,480	1,088	468	115,037	—	115,037
セグメント間の内部売上高 又は振替高	232	66	210	508	△508	—
計	113,712	1,154	678	115,545	△508	115,037
セグメント利益又は損失(△) (経常利益又は経常損失(△))	3,696	△28	363	4,032	△172	3,859

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益又は損失	金 額 (百万円)
報告セグメント計	4,032
セグメント間取引消去	△36
全社営業外損益(注)	△136
四半期連結損益計算書の経常利益	3,859

(注) 全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外収益と営業外費用の差額であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	鉄鋼 (百万円)	エンジニア リング (百万円)	不動産 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	105,005	1,049	626	106,682	—	106,682
セグメント間の内部売上高 又は振替高	117	166	215	500	△500	—
計	105,123	1,216	842	107,182	△500	106,682
セグメント利益又は損失(△) (経常利益又は経常損失(△))	3,717	△34	368	4,050	△225	3,824

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益又は損失	金 額 (百万円)
報告セグメント計	4,050
セグメント間取引消去	△40
全社営業外損益(注)	△185
四半期連結損益計算書の経常利益	3,824

(注) 全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外収益と営業外費用の差額であります。